

平成 31 年度 大さん橋（大さん橋国際客船ターミナル及び大さん橋駐車場）事業計画書

平成 31 年 3 月

指定管理者：横浜港振興協会・神奈川新聞社・ハリマビシステム共同事業体

目次

1 平成 31 年度運営コンセプト

- (1) 運営方針
 - ア 運営指標
 - イ サービスの向上について
 - ウ 賑わいの創出
 - エ 増収方策
 - オ 来場者数目標
 - カ 光熱水費等の節減
 - キ 施設のより良い運営や横浜港の振興に向けて

2 管理執行体制

- (1) 職員配置体制
- (2) 責任体制
- (3) 事故発生時対応
 - ア 落水者対応
 - イ 応急措置、緊急報告について
- (4) 災害発生時対応
 - ア 地震・火災発生時の対応
- (5) 緊急対応について
 - ア 傷病者への対応
 - イ 犯罪発生時の対応
 - ウ 設備異常発生時の対応
 - エ バックアップ体制
 - オ その他
 - カ 緊急連絡体制表
- (6) 防犯・防災対策
 - ア 防犯対策
 - イ 事故防止
 - ウ 衛生管理
 - エ SOLAS対応
 - オ 防災対策

3 指定管理業務計画書（年間事業計画表）

- (1) 運営業務に関する計画表
 - ア 休業日
 - イ 年間勤務体制
- (2) 管理業務に関する計画表（修繕計画を含む）
- (3) 提案事業に関する計画表
- (4) 外部委託予定表
- (5) 要望・意見への対応
 - ア 利用者の声の収集
 - イ 利用者の声への対応
 - ウ 利用者の声を反映
- (6) 研修計画表

4 平成 31 年度収支予算書

1 平成 31 年度運営コンセプト

(1) 運営方針

昨年度、目標であった来場者数 300 万人を 2 年、前倒しで達成することができました。今年度は更なる来場者数を目指しつつも、今まで以上に安心安全な施設運営と魅力あるイベントを実施し、地域連携をより強化し賑わいを創出していきます。

ア 運営指標

来場者数指標：3,300 千人。利用料金収入指標：293,163 千円（平成 31 年度）

イ サービスの向上について

利用者概念を意識し、利用者の満足度を高めるために各種のサービスを展開していきます。夏季の猛暑対策として既に導入しているエアカーテンと昨年導入したスポットバズーカを活用することによって快適なロビーを目指します。熱中症対策として、来館者へ注意喚起のための館内放送を適宜行い、経口補水液（病症者用飲料）を引き続き用意します。

全ての利用者に配慮する取組の中で、今年も横濱ロータリークラブより寄贈された電動車いす WHILL（ウィル）5 台を積極的に貸出していきます。また、衛生面の向上として昨年オートタイプのサニタリーボックスを導入しました。

既に導入済であるスマートフォン充電器（フィーチャーフォンも可）や円貨両替機を活用し、更なるサービス向上に努めていきます。

ウ 賑わいの創出

客船入港増加に伴い、見送りキャンペーンを定期的実施し、本来の棧橋としての賑わいを創出すると共に、客船に対する市民のホスピタリティーを醸成していきます。

恒例となった岸壁使用の大さん橋マルシェを数回開催し、子供も楽しめるコンテンツを取り入れ、来場者年齢層の幅を広げます。

さらに、地域協働パートナーの PR スペースをロビーに設置し、大さん橋周辺の商業エリアと地域内の回遊性を高めながら賑わいを創出します。また、港湾協働パートナーとは、横浜で働く船の見学など港の仕事を子供たちが体験できるイベントを実施していきます。

エ 増収方策

大さん橋ホールでは新規利用者誘致のために営業へ積極的に向くなど、新規誘致に努めるとともに、既存の利用者への利用促進を行います。また、誘客策としての自主事業イベントを行うことにより駐車場利用の促進に努めます。

オ 来場者数目標

今年度は来場者数 3,300 千人を目標数値に設定します。

カ 光熱水費等の節減

構成団体（ハリマビシステム）が認証取得している「ISO14001」の環境マネジメントシステムを活用し、本施設の環境マネジメントサイクルを構築します。省エネ目標を設定し、エネルギー使用量を日常的に把握・分析することにより、目標達成のための活動を推進します。

各種設備機器の運転監視基準を定め、管理標準に準じた設備運転を行うことで、省エネルギーを行い、光熱水費の縮減を図ります。また、「搬送動力省エネシステム」を導入し、定期的な省エネチューニングや日常の運用面における省エネ活動を併せて実施することで、熱源設備等にかかる年間電気量の削減を図ります。

キ 施設のより良い運営や横浜港の振興に向けて

今年度も毎月一回必ず全セクション参加型のインスペクション（館内循環点検）を実施します。また、国際客船ターミナルという観点から不審者への対応という意識を持つべく、不審物・不審者の対応訓練も実施します。防犯カメラが更新されたことにより、より安全な館内を目指します。

普通救命講習を毎年実施することにより、全スタッフが普通救命講習を受け終了証を所持しています。また、毎月防災、防犯に関わる訓練を実施していきます。特に屋内消火栓や消火器の取扱いを体験型訓練として実施します。

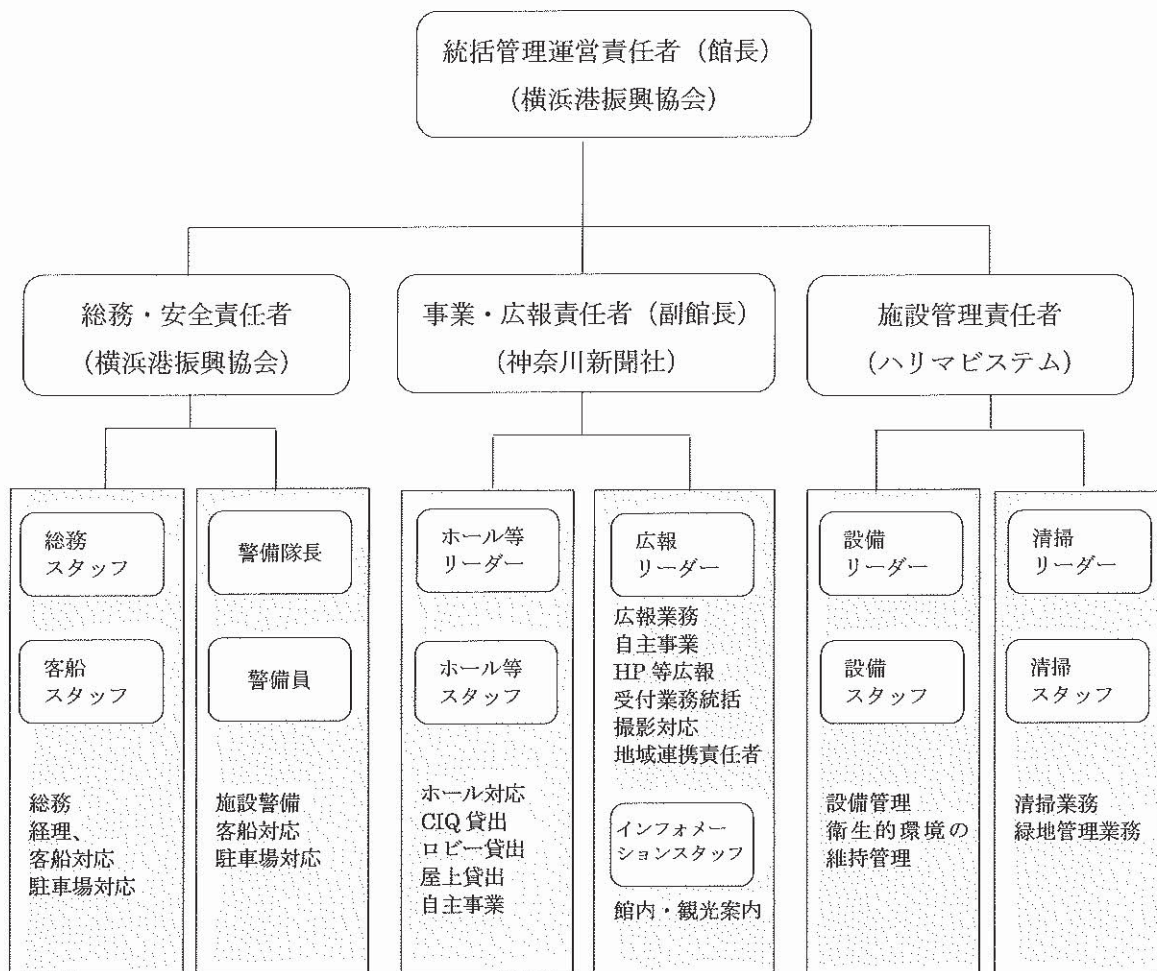
情報発信として、フェイスブックの活用とメディアルームに併設されている神奈川新聞社みなと支局により、神奈川新聞や同社サイトの「カナロコ」等に港周辺の観光、経済、親水性などの記事・写真、動画を発信していきます。さらに地域イベントとの連携を更に推進し、積極的に参加することにより、みなと交流軸の重要拠点としての役割を果たしていきます。

2 管理執行体制

(1) 職員配置体制

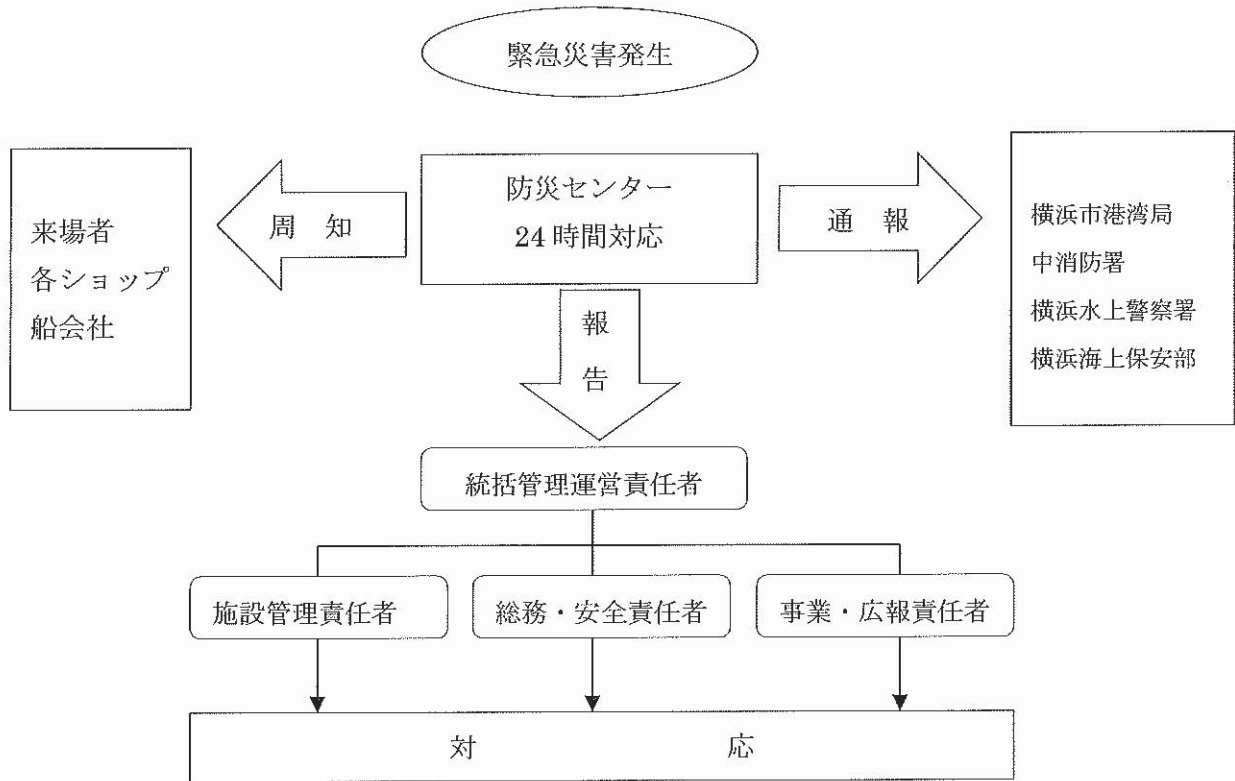
役職	所属	担当業務	勤務時間	備考
統括管理運営責任者 (館長)	横浜港振興協会	総括責任者	8:45-17:30	
総務・安全責任者	横浜港振興協会	総務・経理・客船担当の統括	8:45-17:30	
総務スタッフ	横浜港振興協会	総務・経理	8:45-17:30	
客船スタッフ	横浜港振興協会	客船対応、CIQ設営、歓迎イベント対応、駐車場など	8:45-17:30	
警備隊長		警備業務の統括、客船対応など		
警備員		施設警備、駐車場の実務		
事業・広報責任者	神奈川新聞社	自主事業、ホール利用者の営業活動、メディアサポート グループ統括、など	9:00-18:00	
広報リーダー	神奈川新聞社	広報統括、自主事業、地域連携関連、HP等の広報ツール 管理、インフォメーション業務の統括、撮影受付など	9:00-18:00	
インフォメーション		受付案内業務	9:00-21:30 シフト勤務	
ホール等リーダー	神奈川新聞社	ホール・CIQ・出入国ロビー屋上の利用者受付、ホール スタッフの統括、利用案内、利用対応、自主事業の進 捗管理・当日対応など	9:00-22:00 シフト勤務	
ホールスタッフ		ホール・CIQ・出入国ロビーの利用者管理、機材点検、 利用打合せ、当日対応など	9:00-22:00 シフト勤務	
施設管理責任者	ハリマビシステム	設備管理、清掃、緑地管理の統括など	8:30-17:30	
設備リーダー	ハリマビシステム	設備管理、衛生的環境の維持管理業務における品質管理 など	8:30-17:30 シフト勤務	
清掃リーダー	ハリマビシステム	清掃業務、緑地管理業務における品質管理など	8:00-17:00 シフト勤務	
設備スタッフ	ハリマビシステム	設備管理業務、衛生的環境の維持管理業務、など	8:30-翌8:30 シフト勤務	
清掃スタッフ	ハリマビシステム	清掃業務など	8:00-20:00 シフト勤務	

(2) 責任体制



カ 緊急連絡体制表

緊急時には24時間体制の防災センターを中心に関係各署に連絡するとともに全職員が迅速に対応します。また、正確な情報を収集し外国人を含め、混乱の無いように非常放送等を通じて情報を提供します。



(6) 防犯・防災対策

ア 防犯対策

防災センターを中心にモニター監視や巡回をなどの日常対応を徹底し、物理的対策（施錠等）を強化します。

また、不審物・不審者等への対応にあたっては、「決して触れない」「単独で対応しない」などをルール化し、不審物等が見つかった場合は、関係機関の到着まで、パーテーション等による包囲、立入禁止の掲示等、必要な措置を迅速に講じます。

イ 事故防止

日常的な取組として、施設設備の点検や来場者への声かけ、巡回の強化を実践していくとともに、スタッフ教育も充実させていきます。

スタッフ教育	安全教育の徹底	作業手順等のルール遵守、危険行動についてマニュアルやOJT等で教育。
	安全パトロール	全セクション参加型の館内一斉点検を行い、ゴミの除去や備品の不具合を直します。
	防犯訓練	インストラクターを招き、さすまたを使った防犯訓練を職員向けに開催。
	ホールの安全管理	事故防止に向け主催者側に対し、打合せ時の段取り確認や利用当日の点検・指導を徹底。
	緊急時対応訓練	防災センター内職員の台本のない緊急対応訓練の実施。

ウ 衛生管理

インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症対策などの衛生管理を強化し、「汚染リスクの軽減」につなげます。

スタッフ教育	利用者等への取組	アルコール除菌剤の設置、手洗い呼びかけ、流行時の注意喚起、感染時の出勤制限等。
	高性能薬剤等の使用	EPA登録洗剤等、殺菌効果が高い洗剤による丁寧な清掃。
	感染症対策	感染症の知識と対処法等を標準化し、研修等で理解を徹底。
	接触感染対策	接触感染経路を学ぶDVD教育やATP拭きとり検査を通じた演習。
	ノロウイルス対策	嘔吐物等の専用処理キットの常備。当キットによる処理手順等の研修。

エ SOLAS 対応

施設警備には「港湾施設特定保安要員講習」を受講済みの[]へ委託することにより、臨時 SOLAS 警備との一元化が実現し、より強固なセキュリティで対応します。

オ 防災対策

防災対応マニュアルを作成し、迅速かつ適切な対応ができるよう、当マニュアルを全スタッフへ配布し研修を行います。

緊急連絡網を作成し、緊急時の役割分担や担当者不在時の代行者等を設定します。また、防災訓練などを実施し、防災対策への意識を高めます。

3 指定管理業務計画書（年間事業計画表）

（1）運營業務に関する計画表

年間勤務体制

統括責任者	・	・	・	・	・	日勤勤務	・	原則土日祝休み
総務・安全責任者	・	・	・	・	・	日勤勤務	・	週休2日
総務スタッフ	・	・	・	・	・	日勤勤務	・	原則土日祝休み
客船スタッフ	・	・	・	・	・	日勤勤務	・	週休2日
警備隊長	・	・	・	・	・			
警備員	・	・	・	・	・			
事業・広報責任者	・	・	・	・	・	日勤勤務	・	週休2日
広報リーダー	・	・	・	・	・	日勤勤務	・	週休2日
インフォメーション	・	・	・	・	・	9:00~21:30	（シフト制）	
ホール等リーダー	・	・	・	・	・	9:00~22:00	（シフト制）	
ホールスタッフ	・	・	・	・	・	9:00~22:00	（シフト制）	
施設管理責任者	・	・	・	・	・	日勤勤務	・	原則土日祝休み
設備リーダー	・	・	・	・	・	日勤勤務	・	週休2日
清掃リーダー	・	・	・	・	・	日勤勤務	・	週休2日
設備スタッフ	・	・	・	・	・	8:30~翌8:30	（シフト制）	
清掃スタッフ	・	・	・	・	・	8:00~20:00	（シフト制）	

（2）管理業務に関する計画表（修繕計画を含む）

別紙参照

(3) -1

自主事業に関する計画書

ア 自主事業における基本方針

指定管理の残り2年間において、年間来場者400万人を達成するための原動力として、参加性が高く、発信力のあるプログラムを展開して行きます。

平成31年度の展開においては、昨年度に引き続き地域と港をつなぐ視点や、市民が気軽に参加できる視点を重視すると共に、見送りキャンペーンの施しに当たり、タイアップ等、内容の充実を図り、さらに来場者に対しサービス向上につながる展開を含めた年間構成を計画します。

イ 自主事業の方向

A 地域と港をつなぐ展開

地域協働パートナーとの連携を深めるため、マルシェ会場内やロビーに地域の情報コーナー又は大型サインを設置し、来場者に地域の情報を発信していきます。

また、Beacon（ビーコン）を活用した情報発信を地域協働パートナーの皆様と検討していきます。

B 市民が気軽に参加できる展開

「ランフェスタ」「夜景撮影&コンテスト」「クルーズ船見送りキャンペーン」「海桜」「年越しカウントダウン」などを開催し、大さん橋に来たことが無かった市民に様々な観点から積極的にアプローチし、大さん橋の魅力に触れていただき、リピート率を高めます。

C サービス向上を図る展開

大さん橋アンバサダーとして導入したスマートロボット「ペッパー」（ソフトバンク製）に変わりビーコンを活用した情報発信を検討しクルーズ船乗船客や、ファミリー層、若年層が大さん橋にご来場された際のサービス向上を図ります。

新規取り組みとして、屋上にてブライダル前撮りの方を対象に、ドローン撮影サービスを開始します。

引き続き実施するプログラムとして、明治時代後期からの客船で配布された絵はがき展（年2回展示替え）、歴史を振り返る記念日新聞の販売、横浜三塔物語に関連した絵馬の販売、電動車いす「WHILL」の試乗等を効果的に運用し、これらが大さん橋の名物的な存在にします。

D ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピック開催を見据えた展開

神奈川県ラグビー協会の新年会（キックオフラリー）を実施したことを契機に、世界のラグビーファンへ大さん橋でファンミーティングを行えるよう、提案していきます。ラグビーワールドカップにかかわる事業展開を、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの展開に繋げ行きます。

E 大さん橋エプロン（岸壁）を活用した事業展開

船舶が着岸しない際の大さん橋の賑わいを演出する事業として、エプロン活用を関係各所との調整を図り活用回数を増やしていきます。「花火大会の特別観覧席」「大さん橋マルシェ」「フィッシングチャレンジ」などを今年度も実施します。

(3) -2 自主事業計画表

	事業名		概要	時期
1	客船見送りキャンペーン	A	客船出向時に同色のタオルなど配布し見送りイベントを実施	全船
2	ランフェスタ	B	ショップと連携した「チャレンジランフェスタ」を開催	年2回
3	夜景撮影会&コンテスト	B	プロ写真家による撮影会とSNSを利用したコンテストの開催	年数回
4	ドローン撮影サービスの開始	B	ブライダル前撮りを中心に、ドローンの撮影サービスを実施	通年
5	海桜	B	屋上に桜を立ててオーシャンフロートと連携しお花見会を開催	年1回
6	年越しカウントダウン	B	年越しカウントダウンや初日の出前に映画上映等を実施	年1回
7	凧揚げチャレンジ	C	親子で楽しめる凧の作成と凧揚げの場の提供	年1回
8	客船絵はがき展示	C	明治時代後期より、乗船客に配られた絵はがきの展示。	通年
9	横浜三塔物語「絵馬」販売	C	縁結びの「絵馬」を販売し飾りつけスペースの提供	通年
10	ビーコンを活用した情報発信	C	ビーコンの活用を地域協働パートナーと運用に向け検討。	通年
11	記念日新聞	C	神奈川新聞アーカイブから記念日新聞を印刷し販売する。	通年
12	電動車いす「WHILL」の運営	C	ロータリークラブから寄贈されたWHILLを運用し来場者のサービス向上を図る。	通年
13	四季の装飾展開	C	出入国ロビーを中心に季節の飾りつけで、来場者を楽しませる。	通年
14	ビアガーデン&テラス運営	C	屋上やクルーズデッキで市民の憩いの場所としてビアガーデンを運営する。	夏季
15	和のテイスト事業	D	和装、日本酒、日本食等の日本文化を軸としたイベント。	年数回
16	花火大会特別観覧席の提供	E	エプロンをスパークリングトワイライトの特別観覧席として展開する。	年1回
17	大さん橋マルシェ	E	神奈川県産の食材を使った市場を展開する。	年数回
18	フィッシングチャレンジ	E	港をもっと知ってもらうため親子で参加する釣り大会を開催する。	年数回

(4) 外部委託予定表

業務名	第三者委託先名
施設警備	
作業名称	第三者委託先住所
警備業務	
業務名	第三者委託先名
ホール運営業務	
作業名称	第三者委託先住所
運営業務	
業務名	第三者委託先名
インフォメーション	
作業名称	第三者委託先住所
館内案内	
業務名	第三者委託先名
駐車場	
作業名称	第三者委託先住所
駐車場入退場システム	
業務名	第三者委託先名
廃棄処理	
作業名称	第三者委託先住所
廃棄物処理	
業務名	第三者委託先名
設備業務	
作業名称	第三者委託先住所
監視カメラ点検	
業務名	第三者委託先名
設備業務	
作業名称	第三者委託先住所
出入監視等機器緊急対応	

業務名	第三者委託先名
設備業務	
作業名称	第三者委託先住所
中央監視装置、電力監視装置点検	
業務名	第三者委託先名
設備業務	
作業名称	第三者委託先住所
自動制御設備点検	
業務名	第三者委託先名
設備業務	
作業名称	第三者委託先住所
冷凍機点検	
業務名	第三者委託先名
設備業務	
作業名称	第三者委託先住所
空調機器等点検	
業務名	第三者委託先名
設備業務	
作業名称	第三者委託先住所
上水受水槽、汚水雑排水槽、雨水槽清掃	
業務名	第三者委託先名
設備業務	
作業名称	第三者委託先住所
阻集器点検及び清掃、側溝清掃	
業務名	第三者委託先名
設備業務	
作業名称	第三者委託先住所
飲料水水質検査、雑用水水質検査	

業務名	第三者委託先名
設備業務	
作業名称	第三者委託先住所
ろ過装置点検	
業務名	第三者委託先名
設備業務	
作業名称	第三者委託先住所
ねずみ衛生害虫防除	
業務名	第三者委託先名
設備業務	
作業名称	第三者委託先住所
エレベーター点検	
業務名	第三者委託先名
設備業務	
作業名称	第三者委託先住所
ベルトコンベア点検	
業務名	第三者委託先名
設備業務 防火設備定期検査	
作業名称	第三者委託先住所
建築設備定期検査、特殊建築物定期調査	
業務名	第三者委託先名
設備業務	
作業名称	第三者委託先住所
ウッドデッキ点検	
業務名	第三者委託先名
設備業務	
作業名称	第三者委託先住所
自動ドア点検	

業務名	第三者委託先名
設備業務	
作業名称	第三者委託先住所
シャッター点検	
業務名	第三者委託先名
設備業務	
作業名称	第三者委託先住所
消防用設備点検	
業務名	第三者委託先名
設備業務	
作業名称	第三者委託先住所
高所作業車点検	
業務名	第三者委託先名
清掃業務	
作業名称	第三者委託先住所
清掃作業	
業務名	第三者委託先名
清掃業務	
作業名称	第三者委託先住所
ガラス清掃	
業務名	第三者委託先名
植栽管理業務	
作業名称	第三者委託先住所
芝刈り等	

(5) 要望・意見への対応

ア 利用者の声の収集

以下の方法で利用者の声の収集し、管理業務へ反映させます。

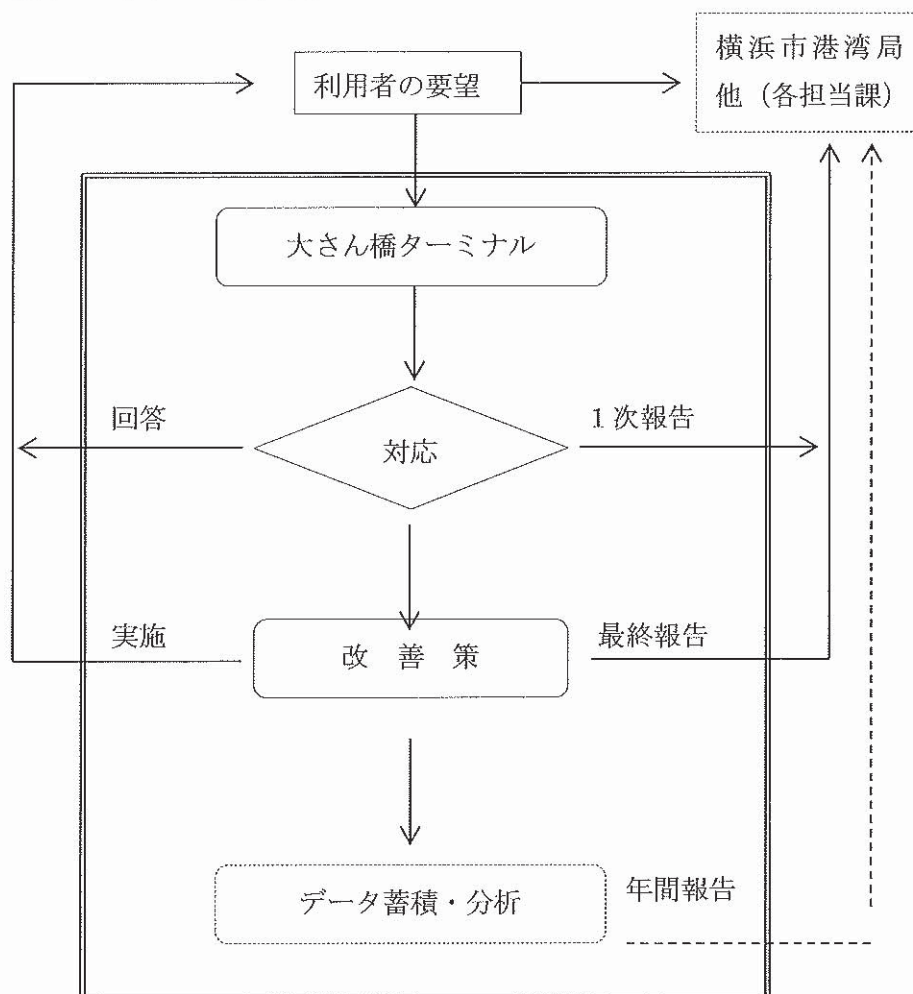
- a 現場スタッフによる直接対応
- b アンケート箱の設置
- c 電話、ファックス
- d ホームページ（問合せフォーム）
- e Eメール
- f 施設利用者アンケートの実施
- g イベント参加者アンケートの実施

イ 利用者の声への対応

収集した意見は専用のフォーマットへ記録し、共同事業体内部で確認や検討を行い、必要時に応じて専門家等の意見も得て分析や対策立案を行い、その対応結果をホームページ等で公開します。

ウ 利用者の声を反映

本施設の各種業務について、PDCAに基づく「品質管理」のシステムを確立し、利用者の声についても、当システムの中で、効果的かつ継続的に収集し、本施設運営の「継続的な改善」に着実につなげていきます。



(6) 研修計画表

研修項目	内容	実施時期	備考
危機管理訓練①	不審物の取り扱いについて	4月	
衛生管理	ゴミの対応について	5月	
危機管理訓練②	SOLAS 警備について	6月	
消防訓練①	屋内消火栓・消火器の取扱いについて	7月	
設備管理講習①	館内設備機器と節電について	8月	
操作法技術訓練会	中自衛消防隊 消防操作法技術訓練会への参加	9月	
救急救命講習	AED の使い方講習	10月	
消防訓練②	全体消防訓練①（消火活動・避難誘導など）	11月	テナント含む
ハラスメント講習	各ハラスメント防止について	12月	
危機管理訓練③	オリパラに向けての宗教関係について	1月	
消防訓練③	全体消防訓練②（消火活動・避難誘導など）	2月	テナント含む
危機管理訓練④	さすまたを使った防犯訓練	3月	

4 平成 31 年度収支予算書

収入

区分	予算	内容	備考
① 指定管理料	256,829,000		
② 利用料金収入	293,163,000		
・大さん橋ホール利用料	91,607,000		
・CIQ プラザ利用料	3,294,000		
・ロビー、クルーズデッキ、屋上利用料	3,025,000		
・事務室及び店舗利用料、発券所利用料	37,631,000		
・駐車場利用料	157,606,000		
③ 提案事業収入	51,610,000		
収入計①+②+③	601,602,000		

支出

① 維持管理運営費	580,345,000		
○人件費	156,184,000		
・常勤給与・賞与	111,076,000		
・非常勤給与・賞与	9,200,000		
・各種手当	13,819,000		
・法定福利費	22,089,000		
・アルバイト賃金	0		
○消耗品費、備品購入費等	7,749,000		
○光熱水費	78,534,000		
○清掃費	16,898,000		
○安全管理費	55,267,000		
○緑地管理費	2,131,000		
○設備保守点検費	48,532,000		
○修繕費	62,758,000		
○駐車場管理費	6,990,000		
○保険料	1,213,000		
○広告宣伝費	8,196,000		
○一般管理費等経費	122,674,000	研修費、歓迎セレモニー、シャトルバス、情報セキュリティ対策費、ホール管理・インフォメーション委託	
○租税公課等	8,353,000		
○消費税	4,866,000		
② 提案事業による支出	21,257,000		
支出計①+②	601,602,000		

別紙 (2)管理業務に関する計画表(修繕計画を含む)

管理No.	種別	作業内容	周期	計画 実績 結果	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
OS-1-01	常駐管理	施設管理業務	毎日	計画 実績 結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
OS-1-02	常駐管理	設備管理業務	毎月	計画 実績 結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
OS-1-03	電気	電灯・動力設備点検	年1回	計画 実績 結果											○		
OS-1-04	電気	受変電設備点検	年1回	計画 実績 結果											○		
OS-1-05	電気	直流電源設備点検	年1回	計画 実績 結果			○										
OS-1-06	電気	構内交換設備点検	年2回	計画 実績 結果			○						○				
OS-1-07	電気	電気時計設備点検	年1回	計画 実績 結果								○					
OS-1-08	電気	表示設備点検	年1回	計画 実績 結果								○					
OS-1-09	電気	インターホン設備点検	年1回	計画 実績 結果								○					
OS-1-10	電気	テレビ共同受信設備点検	年1回	計画 実績 結果								○					
OS-1-11	電気	監視カメラ(ITV)設備点検	年1回	計画 実績 結果								○					
OS-1-12	電気	出入監視等機器緊急対応	都度	計画 実績 結果													→
OS-1-13	電気	電力監視装置点検	年2回	計画 実績 結果			○						○				
OS-1-14	電気	中央監視装置点検	年2回	計画 実績 結果			○						○				
OS-1-15	電気	自動制御設備点検	年6回	計画 実績 結果		○		○		○				○		○	
OS-1-16	空調	冷凍機点検	年4回	計画 実績 結果	○				○		○					○	
OS-1-17	空調	パッケージ型空調機点検 (EHP)	年2回	計画 実績 結果		○						○					
OS-1-18	空調	氷蓄熱槽点検	年1回	計画 実績 結果	○												
OS-1-19	空調	プレート式熱交換器点検	年1回	計画 実績 結果								○					
OS-1-20	空調	ヘッダー点検	年1回	計画 実績 結果								○					
OS-1-21	空調	冷水膨張タンク(2種)点検	年1回	計画 実績 結果								○					
OS-1-22	空調	ユニット型及びコンパクト型AHU点検	年2回	計画 実績 結果		○						○					
OS-1-23	空調	ファンコイルユニット及びファンコンベクタ点検	年2回	計画 実績 結果		○						○					
OS-1-24	空調	空気清浄装置点検	年2回	計画 実績 結果		○						○					
OS-1-25	空調	空調ポンプ点検	年2回	計画 実績 結果		○						○					
OS-1-26	空調	送風機点検	年2回	計画 実績 結果		○						○					
OS-1-27	空調	加湿装置点検	年12回	計画 実績 結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
OS-1-28	空調	加湿装置清掃	年1回	計画 実績 結果								○					
OS-1-29	空調	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に 関する法律に基づく機器の点検	年4回	計画 実績 結果			○			○			○			○	
OS-1-30	空調	空気環境測定	年6回	計画 実績 結果		○		○		○				○		○	
OS-1-31	衛生	上水受水槽清掃	年1回	計画 実績 結果											○		

